

地域での活動

学校防災キャンプ

7月中旬、今年も子供が通う小学校にて「学校に泊まろう会(学校防災キャンプ)」が行われました。この事業は、児童の保護者有志で取り組まれてきたもので、私も平成22年から参加しています(平成23年から実行委員長)。参加者は約70名(うち、児童は36名)。今年は「カレーに入れる具材を子供達が当日班毎に決定し、自分達で買いに行く」形式で実施。参加児童の食物アレルギーを個別に事前把握し、当日に該当する具材を購入することのないよう留意する等、**いつも以上にアレルギー対応に気を配った実施**となりました。

毎年思うことですが、**大人が適切に関与すれば、子供達は驚くほど環境・状況への適応力を見せ、お互いに助け合いながら、積極的なものごとに取り組めます。**

真夏の夜に屋外で過ごす体験は、子供達だけでなく、大人にとってもいざという時への備え・耐性になります。それ以上に、この事業を通して子供達の潜在力を身をもって知り、また、災害対策に限らず大鍋料理におけるアレルギー対応の難しさも今回は実感しました。今後も地域の大人として積極的に関わり、議会を通じて区政に反映していきたいと思います。



飯ごう炊飯



朝4:30の校庭(子供達はテントで就寝中)

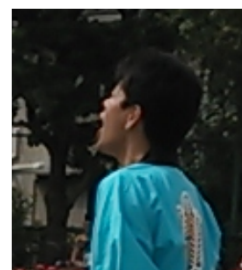


朝食(防災食)

運動会のゲストティーチャー

9月3日及び13日、運動会で踊る「ソーラン節」のゲストティーチャーとして、小学校で授業を行いました。小学校でのゲストティーチャーは、11年目となります。

今年伺ったのは、私自身は初めて授業を行う学校で、対象は5年生約100人(3クラス)。13日は土曜授業だったため、多くの保護者や地域関係者が見学するなかでの授業となりました。



運動会当日。
私は掛け声での参加です。

授業の最後には、騒音計(右の写真)を使つての「クラス対抗掛け声大会」を実施。みんな、目一杯大きな声を出してくれました。

運動会当日は、いくつも隊形を変え、踊りにも変化を加えた素晴らしい演舞を子供達が見せてくれました(隊形等を工夫し、子供達の頑張りを引き出した先生方の頑張りが特筆ものだと思います)。

子供達と直に触れ合え、学校現場の様子も知ることができるこうした機会は、今後も縁があれば積極的に携わっていききたいと思います。



概略スケジュール

【初日】

- 13:30 集合・受付・開会式
 - 14:00 防災倉庫／災害備蓄倉庫見学
 - 14:30 食事づくり(カレーのメニュー決定、具材購入、火起こし体験、かまど設営、飯ごう炊飯、カレーづくり)
 - 18:30 校庭にテント設営
 - 20:00 お話し会(読み聞かせ)
- #### 【2日目】
- 6:00 起床、片付け
 - 7:00 朝食(防災食)配布、閉会式

次回の定例区議会(平成26年第4回定例会)は、11月18日(火)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第44号(平成26年秋号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX:03-3247-8660 E-Mail:ikuma@gakushikai.jp
HP:http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成23年5月より3期目。
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族:妻、長男(11歳)、長女(9歳)、次男(6歳)。

財政・施策の目標達成度、前年度より改善

～ 平成25年度杉並区決算を分析する ～

平成25年度杉並区一般会計決算が、10月14日の区議会において、賛成多数で認定されました。

私も、十分満足できる決算数値とまではいえませんが、前年度に比べ改善が見られたことから、賛成をいたしました。

判断1:施策目標の達成状況

平成24年度から始まる総合計画(10年計画)では、事業の進捗状況をはかるために、73の施策指標を設定しています。平成24年度においては、目標を達成した指標は19のみでしたが、**平成25年度は、33指標が目標を達成**しました。未だ半分に満たず、十分とはいえませんが、**前年度からかなり巻き返したことは評価**しております。

判断2:財政運営上の目標達成状況

総合計画において、「経常収支比率(*)」について80%以内を目指します」としながら、平成24年度は82.8%であり、初年度から達成できなかっただけでなく、前年度より0.1%とはいえ悪化しており、“目指します”という方向性すら達成できませんでした。

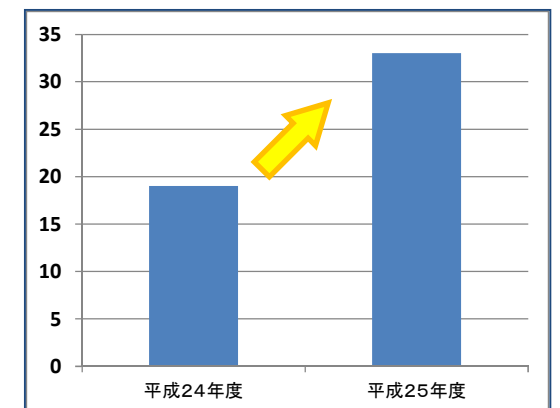
平成25年度は82.5%であり、相変わらず80%以内を達成できておりませんが、**前年度より改善したことは評価**しております。

(*)経常収支比率・・・財政の弾力性を判断する指標。適正水準は、一般的に70～80%とされている。比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを示している。

判断3:基金(貯金)と区債(借金)の状況

施設整備基金残高が6年ぶりに増加(約58億円⇒約60億円)したのは評価できます。しかし、積立基金全体の残高が約6億円の増加(約359億円⇒約365億円)に対して、**区債(借金)残高は約18億円増加(約190億円⇒約208億円)しており、この点は今後とも厳しくチェックしていく必要**があります。

目標を達成した指標数



経常収支比率の推移

平成23年度	平成24年度	平成25年度
82.7%	82.8%	82.5%
	悪化	改善

* 目標は80%以内



事業の進捗管理や財政運営において、**前年度に比べて改善が見られましたが、未だ“道半ば”であることも確か**です。次世代にツケをまわさない、適切な区政運営となるよう、今後とも**しっかりチェックし、問題点は指摘**していきます。

一般質問①

9月10日、区長の所信表明に対し、一般質問を行いました。

以下、その一部を取り上げます。

* 一般質問の様子は、杉並区議会公式ホームページの本会議録画中継(下記)でご覧いただけます。 <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/vod/26-03/260910.htm>



【健康長寿の推進】

今後高齢者の絶対数が飛躍的に増大し、かつ天寿が伸びていくなかで、誰もが生活の質を可能な限り維持しながら生を全うするためには、**高齢者医療は「治す」ことだけでなく、「支える」要素が高まってまいります。**



＜岩田いくまの質問＞

在宅療養体制の充実に向けて、区の課題認識と今後の対応は。

＜区の答弁＞

医療と介護の連携強化による一体的なサービス提供体制の構築が、喫緊の課題である。

在宅療養支援体制の充実に向けて、これまで以上に、地域の医療・介護の関係者等と協議を重ね、実効性のある方策を検討し展開していきたい。

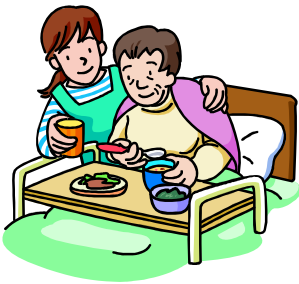
＜岩田いくまの質問＞

都内他自治体での、杉並区民向け特別養護老人ホーム(以下、「区民向け特養」と略)整備の方針は。

＜区の答弁＞

地域包括ケア(*)の観点から**区内整備が基本**だが、用地確保の財政負担が大きいこと等から、**南伊豆町との自治体間連携による取組**(南伊豆町での区民向け特養の整備)**をふまえ、都内他自治体での区民向け特養整備も検討**していく。

(*)地域包括ケア・・・住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されること。



【ICT(情報通信技術)を活用した、区民との協働による地域課題解決】

＜岩田いくまの質問＞

地域での困った課題(道路が傷んでいる、公園の遊具が壊れている等)をスマートフォン等携帯端末を使って区民が報告し、杉並区公式電子地図サービス上で区民と区役所及び区民間でそれらの課題を共有して、合理的・効率的に解決することを目指す仕組みを構築してはどうか。

＜区の答弁＞

まず来年度から、災害時に区民から区の防災サイトに情報提供を受け、それを公開することで情報の共有化を図り、減災に結び付けていく**「災害時情報共有システム」の運用を予定**している。

地域課題の解決に活用していくことについては、今後の研究課題と考えている。



【放置バイク対策】

＜岩田いくまの質問＞

自転車放置防止協力員連絡会においても、放置バイクに対する問題提起がなされている。どう取組んでいくのか。

＜区の答弁＞

平成28年度に、久我山南など**3箇所の自転車駐車場内に、自動二輪車置場を設置**予定。

また、駅周辺の放置バイク対策には、所轄警察署と連携し、役割分担のもと対応していく。



一般質問②

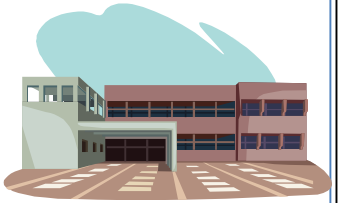
【土曜授業への対応】

＜岩田いくまの質問＞

今年度から、土曜授業が月1～2回、実施されている。しかし、**学校事務職員の勤務体制が対応していない**のではないかと。

＜区の答弁＞

都の条例により、教員には半日単位の勤務時間変更が認められているが、事務職員には認められていない。東京都教育委員会の動向を踏まえ、今後適切に対応していきたい。



その他、「**通学路防犯カメラの設置**」、「**施設間巡回車両等の整備**」、「**平成30年度に開設予定の(仮称)天沼三丁目複合施設の機能**」、「**健康情報拠点の整備推進**」、「**南伊豆町にある旧健康学園跡地の活用**」、「**子ども・子育て支援新制度**」、「**乳幼児の遊びのエリア整備**」、「**基金残高の目標値**」、「**改正労働安全衛生法への対応**」等についても質問いたしました。

決算特別委員会

10月1日～10月10日、決算特別委員会が開催されました。

(10月2日、3日、7日、9日に質問者として登壇)

以下、その一部を取り上げます。

* 決算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画中継(下記)でご覧いただけます。 http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/vod_iinkai/vod_iinkaitop.htm



【質問でとりあげたテーマ】

	施策指標の達成状況(P. 1参照)
2日	普通財産(土地・建物)の管理及び活用 区が借りている借地
3日	定期監査による指摘事項 区立施設管理人室の転用
7日	AED(自動体外式除細動器)の地図情報 「はつらつ元気度チェックシート」と「はつらつ通信」
9日	区立学校におけるアレルギー対策 副校長二人制 区が借りている借地(2日の質疑の続き)

【AED(自動体外式除細動器)の地図情報】

＜岩田いくまの質問＞

「すぎナビ(杉並区公式電子地図サービス)」に区所有のAEDがどこに配置されているか掲載されたのはよい。しかし、都立高校や交番・駐在所、区内各駅等**他の公共機関・公的機関や、医療機関等民間にもAEDは設置されている。これらも含めて地図に掲載してはどうか。**

＜区の答弁＞

提案については理解できるが、設置者の同意等課題もあるので、検討していきたい。

【区立学校におけるアレルギー対策】



杉並区では、学校給食のアレルギー対応として、専用食器及びトレイの導入等を行ってきました。学校防災キャンプ(P. 4参照)を通じてアレルギー対応の難しさを実感したこともあり、今後の区の実施について確認しました。

＜岩田いくまの質問＞

来年度から「アレルギー対応ホットラインを開設する予定だが、どういうものか。

＜区の答弁＞

アレルギーの発症等の際、教員が的確・迅速に対応できるよう、**小児アレルギー専門医からすぐに助言が受けられるシステムを構築**する。

